

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	15H05784	研究期間	平成27年度～平成30年度
研究課題名	AIDのRNA編集機構による抗体の多様化とゲノム不安定化の制御機構	研究代表者 (所属・職) (平成29年3月現在)	本庶 佑（京都大学・大学院医学研究科・客員教授）

【平成29年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、AID（抗体遺伝子改編酵素）がそのRNA編集酵素活性を介してTop1mRNAの翻訳を抑制し、これが抗体遺伝子の体細胞変異やクラススイッチ、さらにはゲノムの不安定性に貢献しているという研究代表者の仮説に基づいた研究であり、幾つかの進展があり概ね順調に進んでいる。例えば、Top1結合タンパク質としてSmarca4やFACTを同定し、それらの役割を明らかにしている。また、AIDとhnRNP L及びKとの結合様式を明らかにしている。いずれの成果も著名な国際学術雑誌に発表されている。AIDによるTop1 mRNAの翻訳制御機構の解明については、今後の更なる進展が期待される。</p>		